□　環境関連の取り組み項目と目標（2014～2016年度）

取り組み項目		目標			
		管理指標	2014年	2015年	2016年
スマートコミュニティの推進 最適マネジメント技術やICT技術の開発・導入等によりスマートコミュニティの実現を目指す。	要素技術開発・活用、社内外連携等	―	スマートコミュニティの推進		スマートコミュニティのプロジェクト展開
ネット・ゼロエネルギービルの推進 省エネルギー設計、再生可能エネルギー利用の取り組みや要素技術の開発によってネット・ゼロエネルギービル（ZEB）の実現を目指す。	技術開発	―	ZEBの要素技術開発		ZEBの技術的確立
	環境配慮設計の推進	CASBEE評価Sランクプロジェクト等の件数　（*1）	件数の拡大		
	省エネルギー設計等による建物運用時エネルギー消費量の削減	運用時エネルギー消費量の削減率 （ベストプラクティス；2000年一般建物比） （標準建物：2000年一般建物比）	△60%以上 △19%以上		
環境負荷の低減 地域・地球環境への負荷低減に積極的に取り組み、持続可能な事業の基盤を強化する。	技術開発等による木造建築の推進	－	2時間耐火部材の整備		中層耐火木造建築の技術的確立
	建設副産物の発生抑制および再資源化促進	最終処分率（重量比）	4.0 %以下	3.5 %以下	3.0 %以下
	施工時に排出されるCO2排出量の削減	CO2排出量原単位（施工高あたり）	10.3 t-CO2/億円以下	10.1 t-CO2/億円以下	9.9 t-CO2/億円以下
	グリーン調達	重点グリーン調達品目（当社基準） 9品目採用プロジェクト件数比　（*2） （設計段階・施工段階）	85 %以上	85 %以上	85 %以上
	自社オフィスにおける、紙購入量の削減、古紙リサイクルの推進	紙購入量、古紙リサイクル率	前年と比べ、維持・改善		
	節電対策や運用改善などによるエネルギー使用量の削減	オフィスにおけるエネルギー使用量	前年より改善		

＊1　CASBEE：　建築環境総合性能評価システム。評価指標によるランクは、「S（素晴らしい）」、「A（たいへん良い）」、「B+（良い）」、「B-（やや劣る）」、「C（劣る）」の5段階。
＊2　対象は、当社設計施工の、2,000 m2以上の新築・増改築工事および10億円以上の改修工事。

□ 2016年度の目標と実績

取組み項目		管理指標	目標	実績	判定
スマートコミュニティの推進 最適マネジメント技術やICT技術の開発・導入等によりスマートコミュニティの実現を目指す。	要素技術開発・活用、社内外連携等	―	スマートコミュニティのプロジェクト展開	・変動に対応した電力マネジメント技術の開発とTAK新砂ビルにおける実証 ・水素ステーションを核とした脱炭素モデルタウン実証施設の計画、着工 ・各種スマートコミュニティプロジェクトの提案	○
ネット・ゼロエネルギービルの推進 省エネルギー設計、再生可能エネルギー利用の取り組みや要素技術の開発によってネット・ゼロエネルギービル（ZEB）の実現を目指す。	技術開発	―	ZEBの技術的確立	・東関東支店のZEB化改修完了、運用実証開始	○
	環境配慮設計の推進	CASBEE評価Sランクプロジェクト等の件数 （*1）	件数の拡大	・CASBEE　S・Aランクプロジェクト 51件 S・Aランクプロジェクトの比率 67.1% （前年より12件、15.1ポイント増加）	○
	省エネルギー設計等による建物運用時エネルギー消費量の削減	運用時エネルギー消費量の削減率 （ベストプラクティス；2000年一般建物比） （標準建物：2000年一般建物比）	ベストプラクティスで△60%以上 （標準建物でに△19%以上）	ベストプラクティスで削減率 53.5% 標準建物で削減率 30.8%	△
環境負荷の低減 地域・地球環境への負荷低減に積極的に取り組み、持続可能な事業の基盤を強化する。	技術開発等による木造建築の推進	－	中層耐火木造建築の技術的確立	・2時間耐火部材の仕様決定 ・メーカーとの連携による耐火部材普及推進体制の整備	○
	建設副産物の発生抑制および再資源化促進	最終処分率（重量比）	3.0 %以下	2.9 %	○
	施工時に排出されるCO2排出量の削減	CO2排出量原単位（施工高あたり）	9.9 t-CO2/億円以下	10.7 t-CO2/億円	×
	グリーン調達	重点グリーン調達品目（当社基準） 9品目採用プロジェクト件数比 （*2） （設計段階・施工段階）	85 %以上	設計段階　89.4 % 施工段階　84.8 %	△
	自社オフィスにおける、紙購入量の削減、古紙リサイクルの推進	紙購入量、古紙リサイクル率	前年と比べ、維持・改善	紙購入量：前年比 3.3 %削減 古紙リサイクル率 87.3 %	△
	節電対策や運用改善などによるエネルギー使用量の削減	オフィスにおけるエネルギー使用量	前年より改善	前年比 1.4 %削減	○

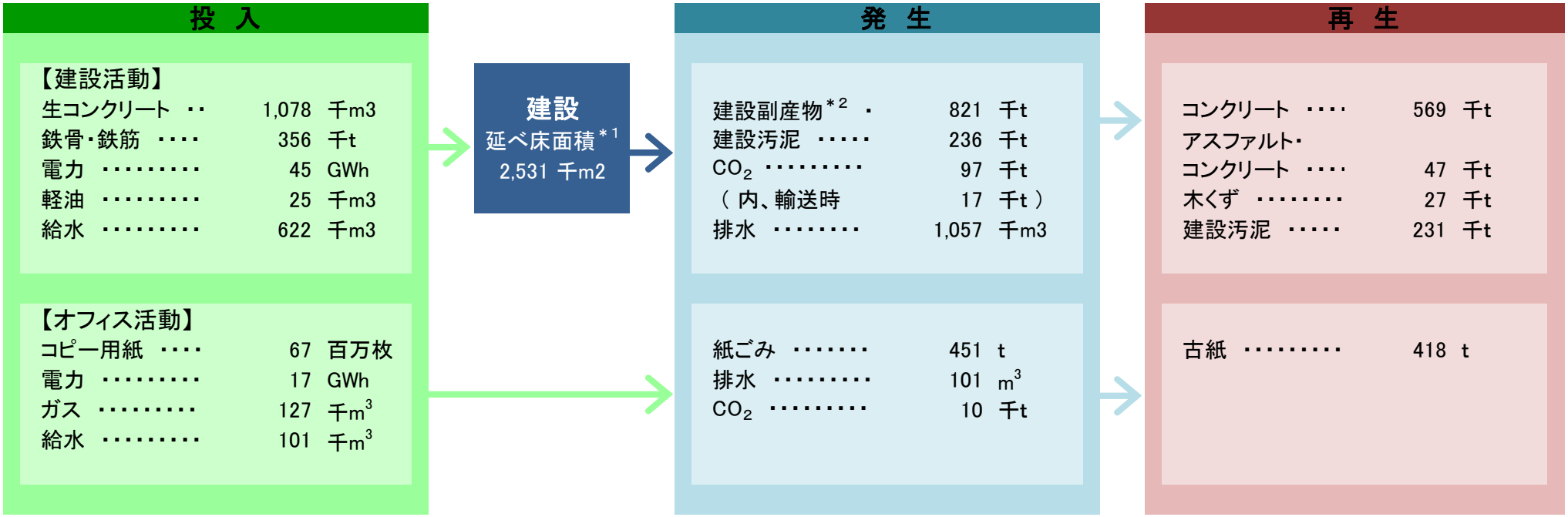
＊1　CASBEE：　建築環境総合性能評価システム。評価指標によるランクは、「S（素晴らしい）」、「A（たいへん良い）」、「B+（良い）」、「B−（やや劣る）」、「C（劣る）」の5段階。

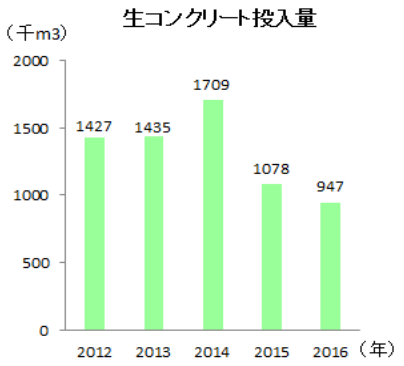
＊2　対象は、当社設計施工の、2,000 m2以上の新築・増改築工事および10億円以上の改修工事。

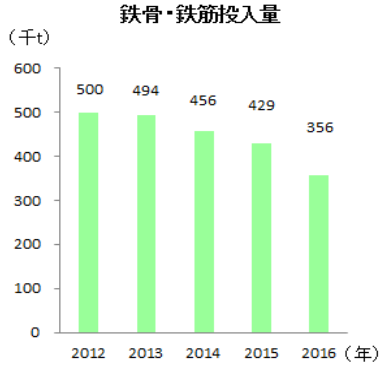
□ マテリアルフロー

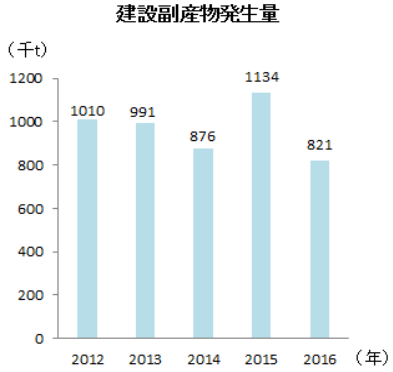
国内の事業活動に由来する資源消費量や環境負荷の現状を可能な限り定量的に把握しました。

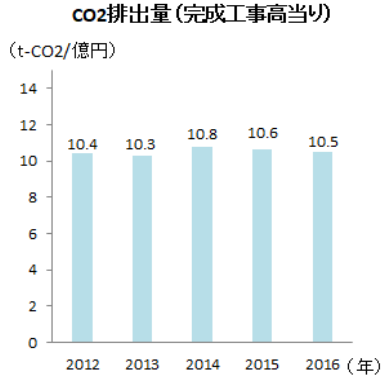
2016年の投入、排出、再生量

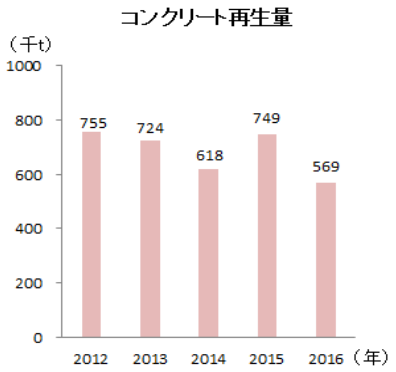












＊１　延べ床面積は、新・増築、改修、解体工事の合計。

＊２　建設副産物は、新・増築、改修、解体工事の合計。特別管理産業廃棄物は含まない。

□ グリーン調達

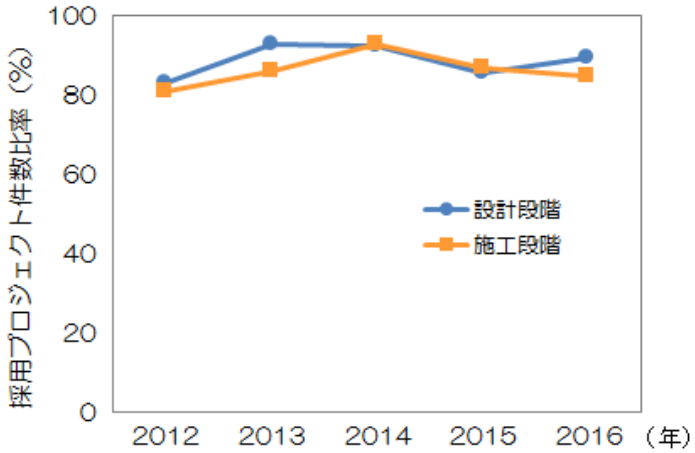
竹中グループではグリーン調達の考え方を共有し、環境負荷の少ない物品やサービスの調達に努めています。

竹中グループのグリーン調達の考え方

竹中グループでは、グリーン購入法に基づいて環境負荷の小さい物品やサービスの調達に努めます。建設活動やオフィス活動における各種調達にあたっては下記の項目を考慮して、環境負荷低減に努めましょう。

1. 温室効果ガス（CO2等）排出、エネルギー消費が少ない
2. 枯渇性資源の代替または未利用天然資源を活用した資材である
3. 地球環境に対して有害な物質の含有・排出が少ない
4. 人の健康に対して有害な物質の含有・排出が少ない
5. 廃棄物の削減が図れる
6. リデュース、リユース、リサイクル品であるか、今後可能な資材である
7. 周辺環境に対して騒音・振動、塵埃等の発生が少ない
8. 生物多様性保全に配慮している

竹中工務店では、独自のグリーン調達品目リストを作成しており、さらに2012年からは環境保全効果がとくに高いもの、多くのプロジェクトに適用が可能なもの、採用の推進が必要なものを重点グリーン調達品目と定め、設計・施工の各段階で9品目以上の採用に努めています。
2016年度の「重点グリーン調達品目」を9品目以上採用したプロジェクトの件数比率は、設計段階で89.4%、施工段階で84.8%でした。



※ 集計対象：当社設計・施工プロジェクトのうち、2,000m2以上の新築・増改築工事および10億円以上の改修工事。